

表1. 財政力指数の推移

(千円)

(1/2)

区分	H30	R1	R2	R3	R4	R4-H30
基準財政収入額 A	122,599,214	123,497,370	126,654,414	120,790,628	124,812,448	2,213,234
基準財政需要額 B	137,072,973	139,676,412	143,019,694	145,748,567	149,795,246	12,722,273
財政力指数(単年度)A/B	0.894	0.884	0.886	0.829	0.833	-
財政力指数(3年平均)	<b>0.892</b>	<b>0.891</b>	<b>0.888</b>	<b>0.866</b>	<b>0.849</b>	<b>▲ 0.043</b>

- ・基準財政収入額 A： 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体の財政力を合理的に測定するために算定する収入額。  
算定式 = 「標準的な地方税収入見込額 × 原則75%」
- ・基準財政需要額 B： 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政を行い、または施設を維持するための財政需要を一定の方法によって合理的に算出した額。  
算定式 = 「単位費用(法定)」×「測定単位(国調人口等)」×補正係数
- ・財政力指数： 地方公共団体の財政力を示す指数で、数値が1に近く、又は1を超えるほど財政に余裕がある。  
算定式 = 「基準財政収入額 A」 / 「基準財政需要額 B」 (過去3年間の平均)

図1. 財政力指数（政令市比較）

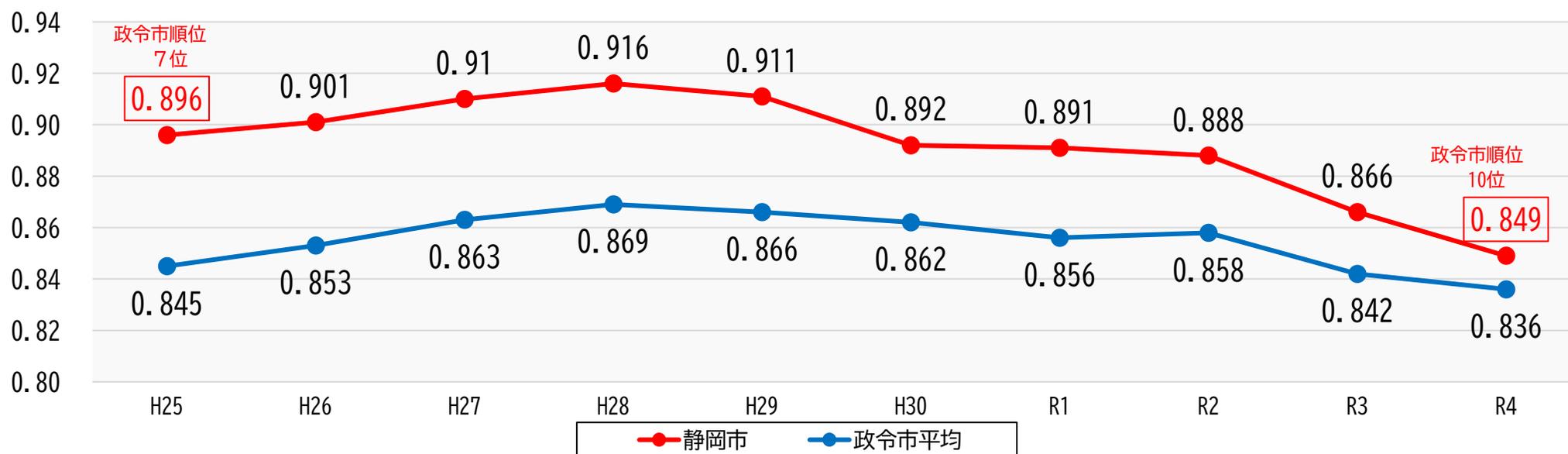


図2. 市債残高の推移

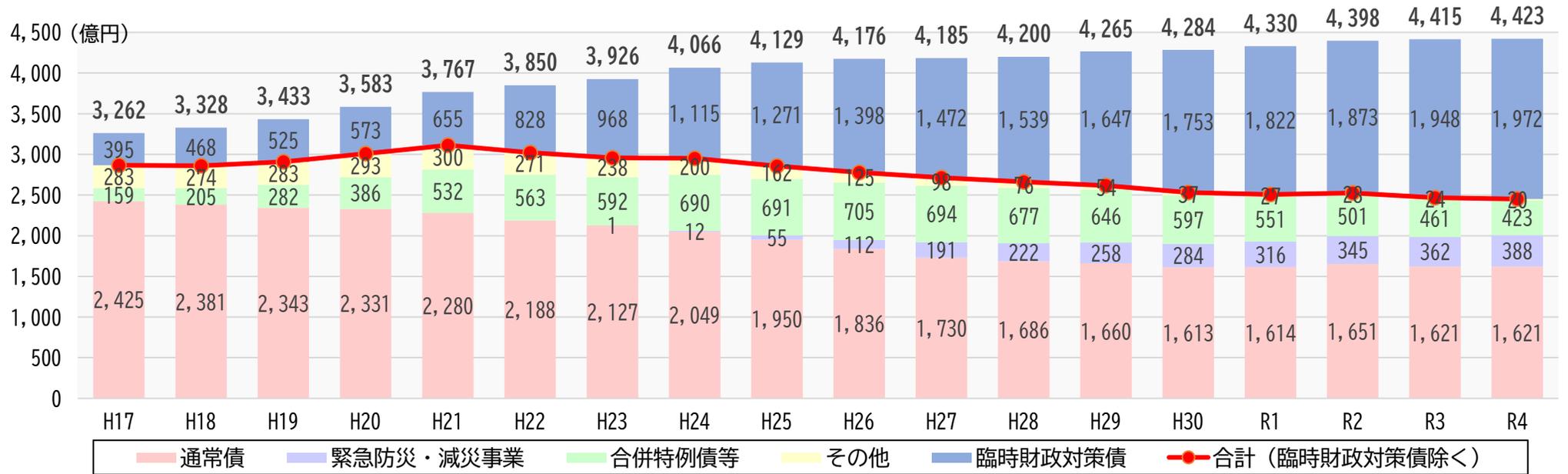


表2. 実質単年度収支の推移

(億円)

区分	用語説明	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
歳入 a		2,798	2,817	2,836	2,825	3,148	3,130	3,217	4,098	3,631	3,608
歳出 b	形式収支： 歳入決算から歳出決算を単純に差引いた額。	2,695	2,741	2,768	2,770	3,081	3,047	3,136	4,014	3,533	3,495
形式収支 c = a-b	翌年度繰越財源： 翌年度に繰り越した事業費（繰越明許費など） に充当する額。	103	76	67	55	67	83	81	84	97	113
翌年度繰越財源 d		50	36	25	21	22	29	30	30	31	44
実質収支 e = c-d	実質収支： 形式収支から、翌年度繰越財源を差引いた額。	52	40	42	34	46	53	51	53	66	69
単年度収支 f = e-前年e		12	▲ 13	2	▲ 8	12	8	▲ 2	2	12	3
財調基金積立金 g	単年度収支： 実質収支から、前年度の実質収支を差引いた 額。当年度だけの純粋な収支。	22	24	25	22	19	29	27	26	52	33
繰上償還金 h		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3
財調基金取崩し i	実質単年度収支： 単年度収支から、収支を調整する要素となる財 政調整基金積立金及び地方債の繰上償還金を加 え、赤字要素となる財政調整基金取崩しを差引 いた額。	22	24	25	22	19	29	27	26	22	33
実質単年度収支 j = f+g+h-i		12	▲ 13	2	▲ 8	12	7	▲ 2	3	42	3
財政調整金残高		86	86	86	86	86	86	86	86	116	116

感染症対策や大規模災害に備えた30億円の積み増し